



平成25年度 補助事業等実績報告書

平成26年4月28日

函館市長 工藤 壽樹 様

住所 函館市元町24番1号
補助事業者等 団体名 道南銀鈴会
代表者名 会長 井平 次郎

補助事業等の名称 道南銀鈴会運営事業

平成25年5月2日付函福障をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、平成26年3月31日に完了しましたので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額 金 50,000円

補助金等領収済額 金 50,000円

補助金等領収未済額 金 0円

平成25年度 補助事業等の実績書

申請者の概要	設立年月日	昭和54年8月4日
	構 成 員	44 名
	営む主な事業	喉頭摘出者の発声技術の修得事業
補助事業等の内容	<p>身体障害者福祉事業の拡充に伴い、身体障害者自らの努力により、社会復帰の道を力強く踏み出し、地域社会の実情に即応しながら、関係諸団体との交流、相互親睦および協力を努めるとともに、食道発声、人工喉頭の研修上達に励み、また本会の発展を図ることを目的に次の事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、月4回の食道発声、電気式喉頭発声練習教室の開催 2、年間2回の特別発声訓練教室の開催 3、他団体主催の研修会への参加 4、各病院の喉頭摘出患者の慰問と激励 5、日本喉摘者団体連合会への参加 6、会員の情報交換と広報活動の推進 	
補助事業の実施による効果	<ol style="list-style-type: none"> 1、発声指導員の資質の向上 日本喉摘者団体連合会北日本ブロックが開催した発声指導員研修を受講することにより、発声指導の向上を図った。 2、発声指導員増による訓練体制の強化 道南銀鈴会の指導員増で函館市および北海道南部の喉頭摘出者が、地元において、発声訓練を容易に受けることができた。 3、各病院との連携の強化 広報紙「鈴の音」の発行を通し、喉摘者に福祉や生活情報を提供し、各病院との連携を深め、社会復帰の機会の一助とした。 	
備 考		

道南銀鈴会 平成25年度予算・決算書

収入の部

(単位 円)

項目	平成25年度 予算	平成25年度 決算	増減	内訳
会費収入	132,000	123,000	- 9,000	会員減 会費 3,000円
助成金 補助金	350,000 50,000	350,000 50,000		相馬報恩会 350,000円 函館市 50,000円
雑収入	238,000	247,000	+ 9,000	物品斡旋の販売促進等による 新年会、総会、懇親会会費
合計	770,000	770,000	0	

支出の部

項目	平成25年度 予算	平成25年度 決算	増減	予算見積内訳
交際費	60,000	56,000	- 4,000	慶弔金
事務費	180,000	156,650	- 23,350	事務局賃料、通信費、事務用品
研修費	180,000	210,000	+ 30,000	研修会開催、特別発声練習教室 発声練習運営費
負担金	70,000	65,020	- 4,980	日本喉摘者団体連合会費 日喉連総会・理事会費
会議費	180,000	191,000	+ 11,000	日喉連・北日本ブロック指導研修旅費 総会・理事会旅費
雑費	100,000	91,330	- 8,670	ウインプロン、フィルター、テキスト等、 新年研修懇親会・総会補助
予備費	0	0		
合計	770,000	770,000	0	